

IP遠隔自動放送システム

システム紹介

はじめに 【従来のアナログ方式】

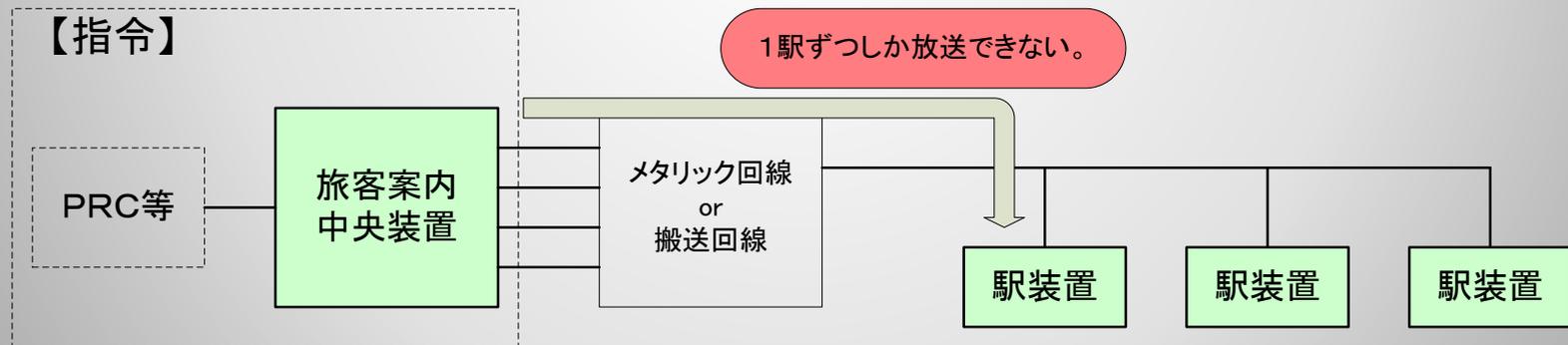


従来の遠隔自動放送システムは、メタリック回線や搬送回線を使った遠隔放送回線を使用したシステムです。

遠隔放送回線は音声帯域の回線ですので中央に音源を設け、中央から駅に対し音声を流す中央配信型のシステムとなっております。

遠隔放送の各駅はブランチ接続であるため、1駅ずつしか放送できないというデメリットがありました。

従来の遠隔自動放送システムは[こちら！](http://kanno.co.jp/product/detail/31) (<http://kanno.co.jp/product/detail/31>)



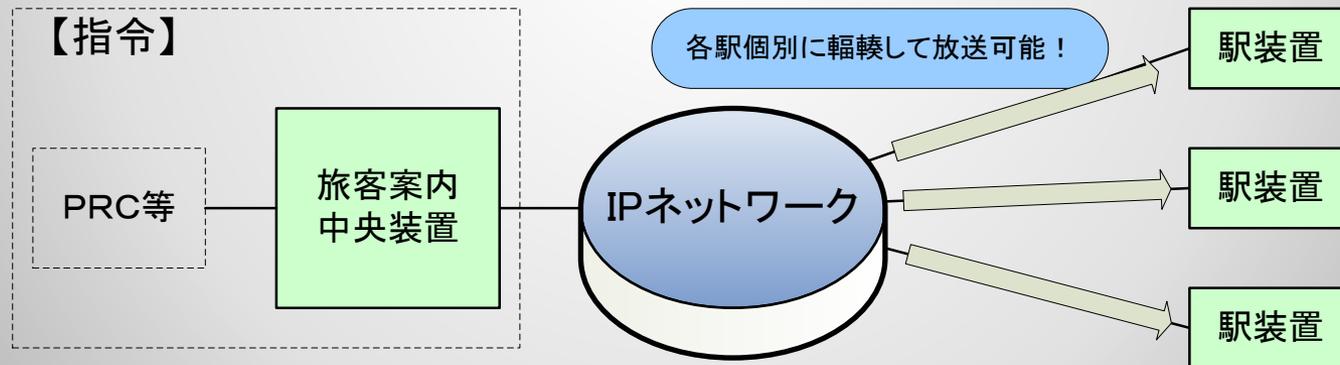
はじめに 【IP方式の構成】



中央と駅をつなぐインフラがIPネットワークの場合、IP方式での構成が非常に有効です。

中央から個別に制御が行えますので駅ごとの放送競合の考慮は必要なく、輻輳して放送を行うことができるのが最大のメリットです。

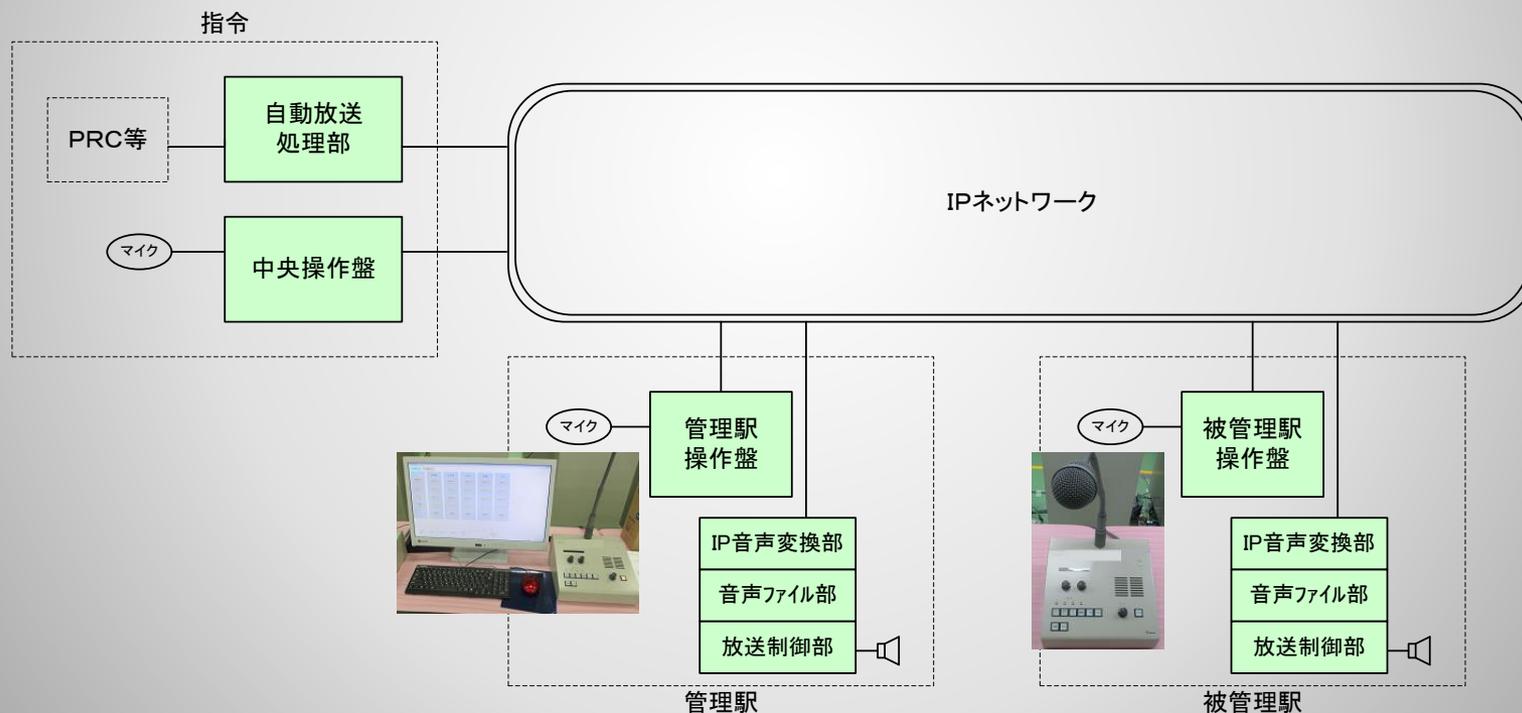
弊社ではIPネットワークに対応した遠隔自動放送システムもラインナップに備えております。その**IP遠隔自動放送システム**をご紹介します。



システム系統図



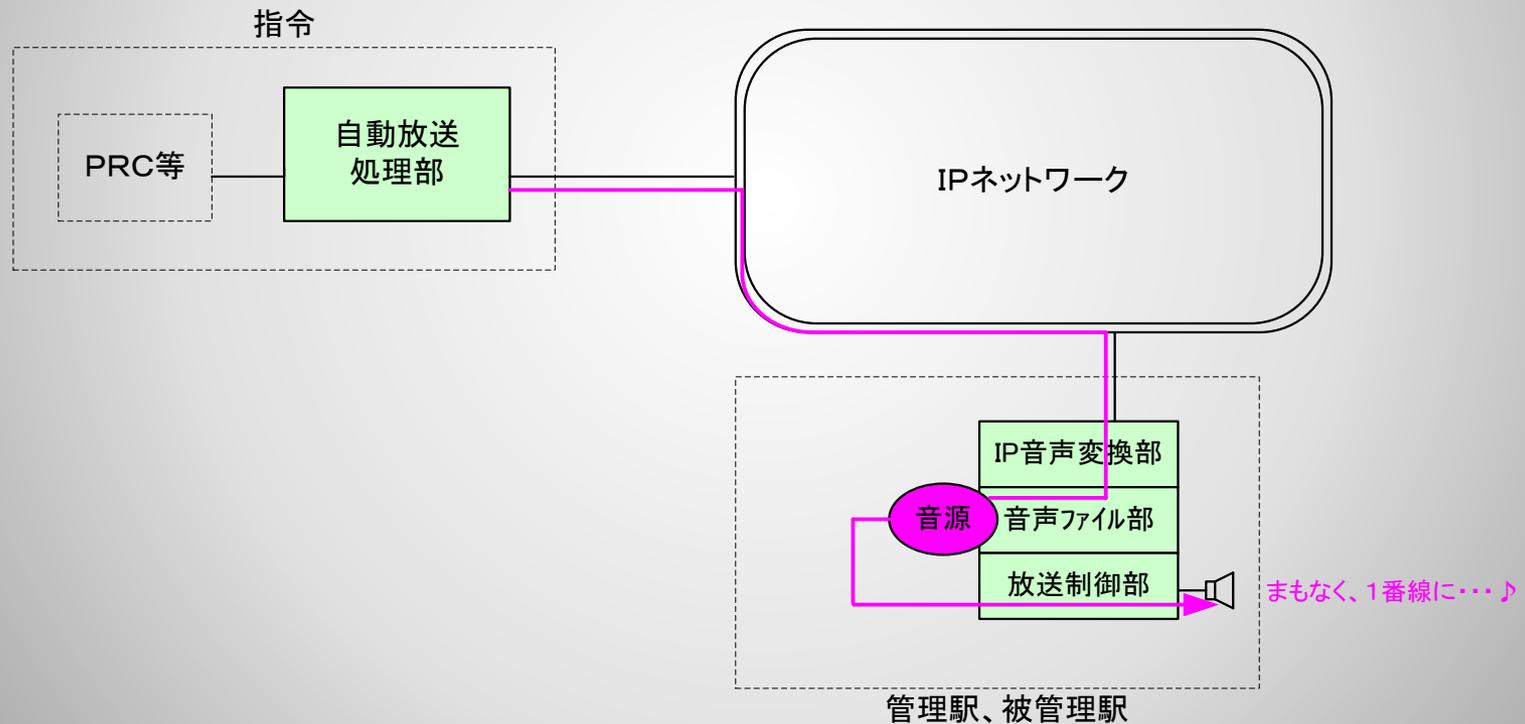
IP遠隔自動放送システムのシステム系統図を説明します。
指令には自動放送を制御する自動放送処理部と、全駅にマイク放送が行える中央操作盤を設けます。
駅には2つのタイプがあり、管理駅用の装置と被管理駅用の装置に分かれます。



機能概要～自動放送～



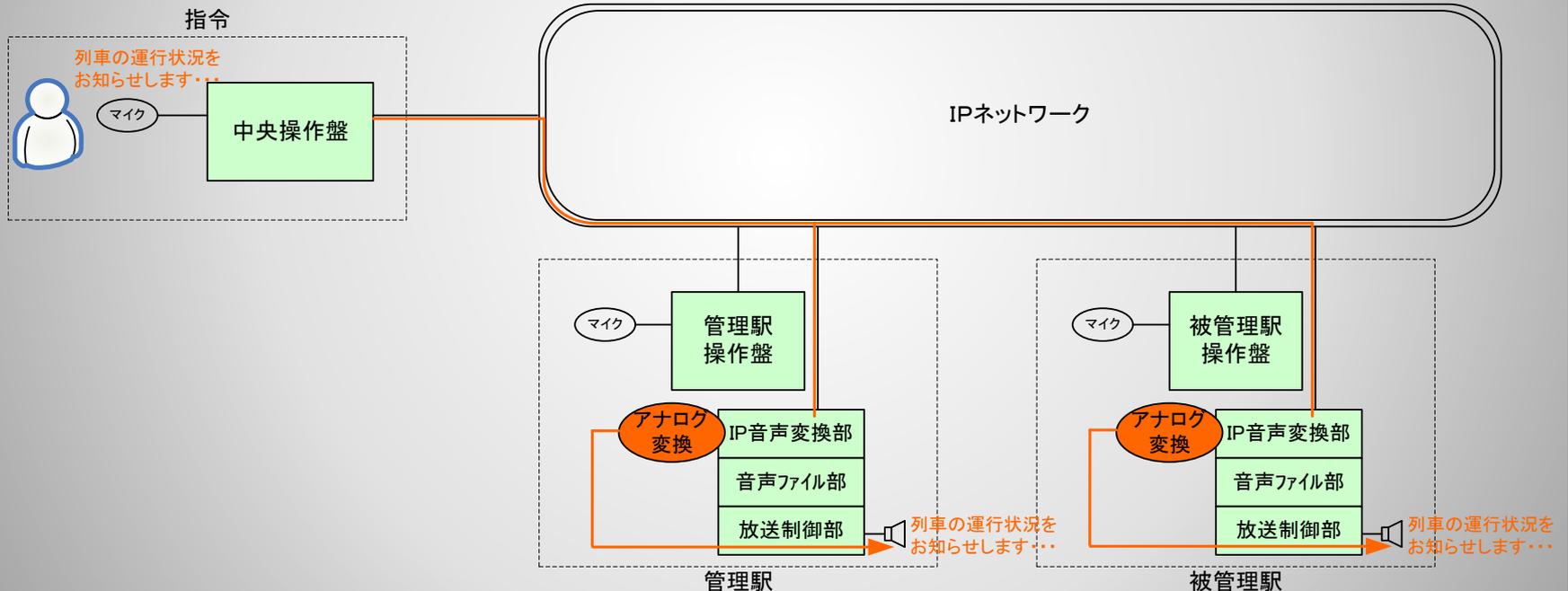
各駅への自動放送の制御は、指令にある自動放送処理部が制御します。
PRC等の運行情報から放送タイミングを計り、各駅の音声ファイル部へ放送要求を行います。音源は各駅の音声ファイル部に格納しております。



機能概要～指令マイク放送～



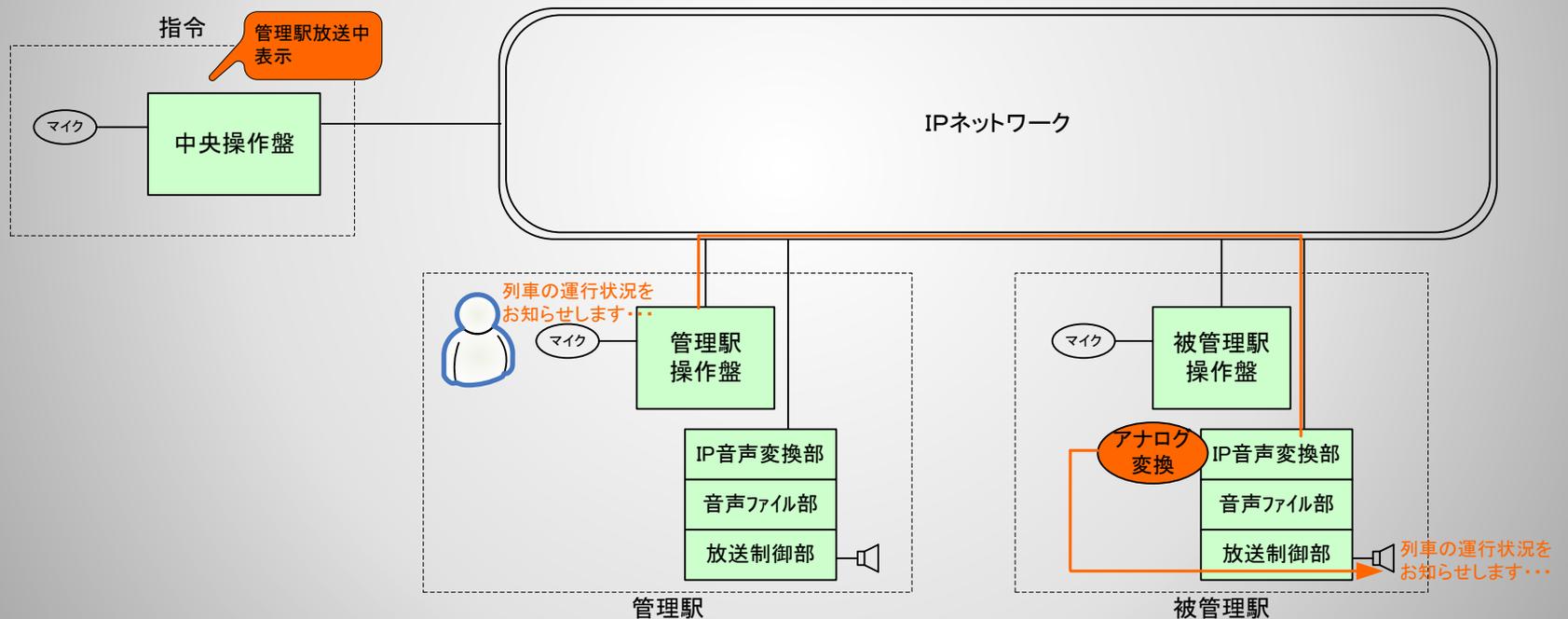
指令の中央操作盤からのマイク放送は、音声のIPパケットが各駅のIP音声変換部へ届き、アナログ変換され出力されます。



機能概要～管理駅マイク放送～



管理駅操作盤からは管轄の被管理駅へのマイク放送が行えます。
中央操作盤では、管理駅が放送していることが表示でわかるようになっています。

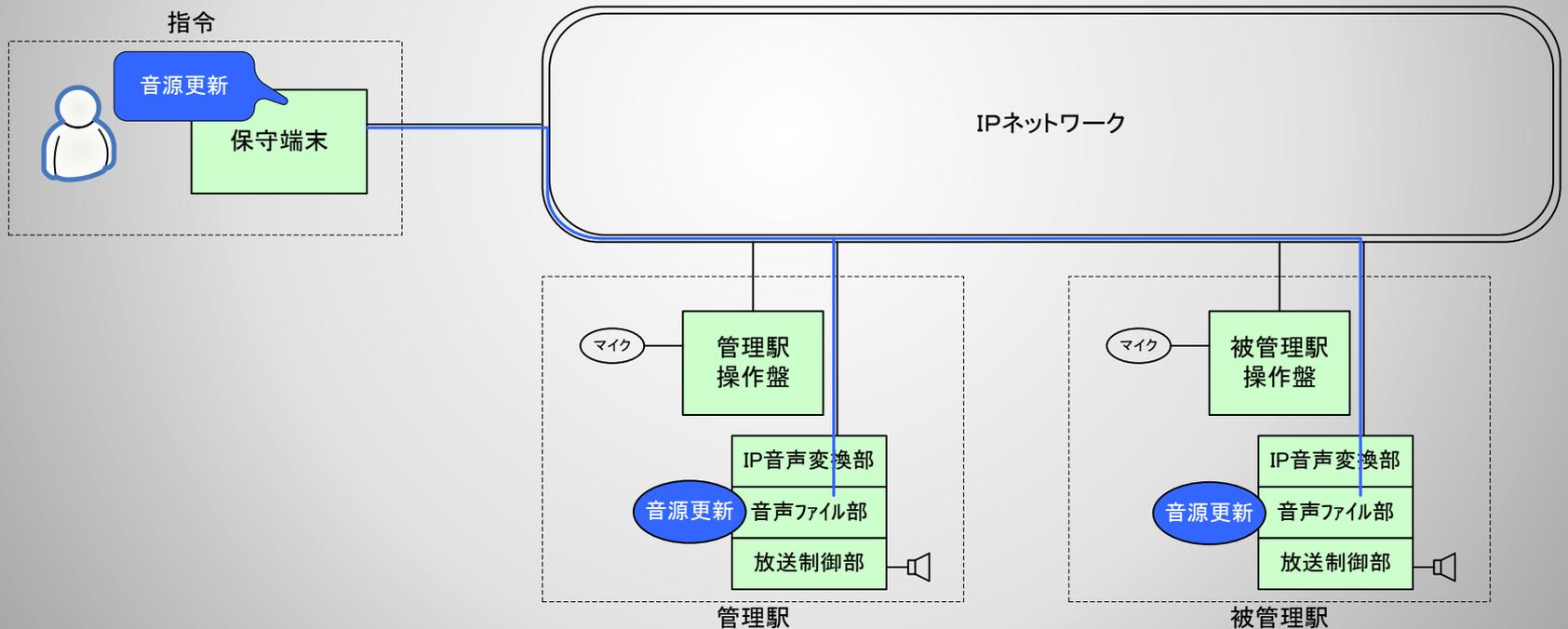


機能概要～音源管理～



自動放送の音源は各駅の音声ファイル部に保管されていますが、音源の更新は中央からの一括更新が行えます。

中央の保守端末より各駅の音声ファイル部へ音源データの転送が行えます。



まとめ



弊社のIPネットワーク対応ソリューションにより、IPネットワークに対応した大規模な自動放送システムを構築することができます。

自動放送の放送文についてはご要望に応じたカスタマイズが可能です。
また運行管理システムとのインタフェースも様々なメーカー様との実績がございます。

ご興味ございましたら最寄りの営業所までご相談ください。

INNOVATION  *TO CONNECT*

“つなぐ”を革新する